

飛騨市民病院では平成18年に緩和ケアチームを発足、翌年には緩和ケア外来を開設して、住み慣れた地域で安心して最期まで人生を全うするためのサポート体制を整えています。



暖かい癒やしのデイルーム

入院中の療養生活をよりよい環境で送っていただけるように、令和2年12月に飛騨市民病院を守る会様にご協力を賜り、2階デイルームの改修を行いました。飛騨の匠の技が凝縮された優しい風合いの家具に包まれて、**ゆったりとお寛ぎいただける空間**となりました。

もしものときのために～人生会議してみませんか？

あなたは「もしものこと」を考えたことがありますか？私たちは、いつでも命に関わるような大きな病気や怪我をして命の危険が迫った状態になる可能性があります。命の危険が迫った状態になると**約4分の3の方が**これからの治療やケアなどについて**自分で決めたり、人に伝えたりすることができなくなる**と言われています。

”人生会議”とは、あなたの大切にしていることや望み、どのような医療やケアを望んでいるかについて、自分自身で考えたりあなたの**信頼する人たちと話し合う**ことを言います。あなたにはこのような前もっての話し合いは必要ないかもしれませんが。しかし自分の気持ちを話せなくなったときには、心の声を伝えることができるかけがえのないものになり、ご家族やご友人の心の負担は軽くなることでしょ。

※本内容は、連載企画です。今後の掲載予定は以下の通りです。既刊分をご覧になりたい方は飛騨市民病院ホームページにバックナンバーがあります。うまく活用しましょう。

42号	2019/8	:人生会議とは	人生会議のすすめ方(流れ)
43号	2020/2	:第1ステップ	考えてみましょう
44号	2020/8	:第2ステップ	信頼できる人が誰か考えてみましょう
45号	2021/2	:第3ステップ	主治医に質問してみましょう
46号	2021/5	:第4ステップ	話し合みましょう
47号(本号)	2022/2	:第5ステップ	伝えましょう
48号	2022/8	:やってみよう人生会議	



第5ステップ 伝えましょう



今まで色々と考えてきましたが、もしもの時に、あなたの信頼できる家族や友人にどれくらい任せるかについても考えておくといいでしょう。特に、あなたが望んでいる治療やケアと医療・介護従事者の考える、あなたにとって1番いいと思われる治療やケアの内容が食い違ったときはとても判断に迷います。

自分の考えが伝えられなくなったときに、あなたの望んでいたこととあなたの信頼できる家族や友人の考えが違うときはどうしてほしいですか？

- 私が望んでいた通りにしてほしい
- 私が望んでいたことを基本として、医療・介護従事者と信頼できる家族や友人で相談して決めてほしい
- 私が望んでいたことと違って、医療・介護従事者と信頼できる家族や友人で相談して決めて良い
- どちらともいえない

信頼できる家族や友人と話すだけでは十分ではありません。その他の家族や知人、医療・介護従事者にもあなたの希望や考えを伝えておきましょう。希望がより尊重されやすくなります。

※「気持ちが変わること」はよくあることです。

その都度信頼できる家族や友人や医療・介護従事者と話し合しましょう。

※医療・介護従事者に希望を伝えた後でも、いつでも内容を訂正することはできます。

病状や症状が変化したときなど定期的に考えを整理し直し、必要に応じて主治医や家族と話しておきましょう。

飛騨市民病院では、がんなどの命に関わる病気の患者さんや家族のための緩和ケア外来を開設しています。

<緩和ケア外来>

毎週火曜日
診療時間 15:00~17:00
受付時間 16:30まで
問い合わせ先：TEL.0578-82-1150(代)

<主な相談内容>

- ★ 痛み、だるさ、息苦しさなどの変調について
- ★ 病気になったことで起きる様々な心配ごと
- ★ 病気のことを知る怖さや不安について
- ★ 在宅療養の支援について
- ★ 家族が持っている悩みについて 等

